

# 東建パブリニューズ

平成29年 8月24日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成29年 8月23日 中部経済新聞 P. 2

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

## 「ここが聞きたい」

### 刀剣博物館建設への思いは？

#### 東建コーポレーション社長 左右田 稔氏

(そうだ・みのる)

これまでになく、博物館づくりにチャレンジしたい。刀をただ1列に並べるのではなく、2列、3列と立体的に並べ、棚を可動させることも検討して



「見せ方を工夫し、これまでになくような博物館づくりにチャレンジしたい」と話す左右田社長兼会長

## これまでになく博物館に

東建コーポレーションは、2020年6月の完成をめざし、名古屋市中区栄に刀剣美術博物館「名古屋刀剣ワールド」を建設する。6階建てで、展示スペースは約1040平方メートル、延べ床面積は約2200平方メートルの予定で、常時約200振りの日本刀を展示する。刀を紹介する拠点としては国内最大。建設に込める思いやねらいなどを、左右田社長兼会長に聞いた。

(聞き手・竹田ゆりこ)

「展示する刀は、左右田社長が約40年前から集めてきた。日本刀に興味を持つたきっかけは、」

「さかのぼって考えてみると、幼いころ、家にあった1枚の写真がきっかけ。戦死したおじが、警察官の制服を着て、サーベルを持った姿が写っていた。その姿が、なんとなく頭の中にあ

「日本刀の博物館として、日本一、世界一となるだに込める思いは。」

「徳川家の妖刀『村正(むらまさ)』や『関の孫六』で知られる刀工・孫六兼元(まごころくかねもと)の刀など、東海地区ゆかりの刀も集めていく。重要文化財に指定された刀も、現在の5本から9本が増える予定。国宝の刀も譲ってもらう話が出ている。刀以外に甲冑も40〜50体展示したい。名古屋の観光資源の一つになれば」

「ねらいは。」

「施設は財団法人が運営する予定。一般博物館並みの入場料を頂戴する。投資はかさむが、一つの新しい事業とみている。『刀剣』が社名の『東建』と韻を踏むことで、会社のPRにもつなげる。隣接地に建設する高級賃貸マンション『栄タワーヒルズ』と一体的にプランディングすることで、双方の施設の付加価値を高めることもできるだろう」